

9月市議会定例会

一般質問

9月8日(火)から9月10日(木)3日間の日程で、11人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介いたします。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

9月8日(火)

自民クラブ(代表質問)
伊藤謙司議員(40分)



(1)市長の今期公約の自己評価について

(2)新型コロナウイルス感染者への対応について

問 市内において、新型コロナウイルス感染者が出た場合、どういった情報が市行政に入り、関係機関にはどのような情報が伝達され、市はどのような対応マニュアルになっているか。

答 本市在住または本市滞在中に感染者が確認された場合は、県から西条保健所を経由して年

齢、性別、症状、行動歴などの情報が市に伝達される。それを受け、市では、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において協議を行い、対応策の取りまとめなどを行うとともに、プライバシー保護に留意しながら、必要な事項について広報を行っている。

(3)新型コロナウイルス感染症関連交付金について

(4)学校教育活動等の「学びの保障」について

問 学校教育において、感染再拡大に備えるには、オンラインと従来型対面授業を掛け合わせたハイブリッド授業というものも考えるべき。全生徒へのタブレット導入後、オンライン授業を通常授業の中に組み込むことは考えているか。

答 遠隔地とつないでのオンライン授業は、その地に行かなくても臨場感あふれる情報を得られ有益であり、オンラインで他の教室や他県の学校と交流授業などを行ったり、授業においてオンラインで講師の話の聞こえと聞いた工夫ができることは、教育的な意義があると考え、このような取り組みを通して、オ

ンライン授業を通常の授業の中に取り入れることは可能と考えている。

(5)学校の新しい生活様式について

公明党議員団(代表質問)
高塚広義議員(40分)



(1)第六次長期総合計画について

①基本構想及び基本計画
②地域コミュニティの充実

(2)行政改革大綱について

(3)新型コロナウイルス感染症対策について

①感染拡大に伴う支援策
②避難所運営
③感染拡大防止に係る工事の設計変更

(4)防災・減災対策について

①危機管理体制
②避難行動要支援者

問 大規模災害時に、自力で避難が困難な高齢者や障がい者などの配慮が必要な人(避難行動要支援者)が孤立せず安心して避難できるように、避難行動要支援者名簿が作成されているが、今後随時更新を行い、また要支援者名簿を活用し避難訓練などを行うべきでは。

答 避難行動要支援者名簿につ

いては、毎年調査しており、本人、家族、民生委員、自治会からの情報により随時更新している。迅速かつ適切な避難行動につなげるためには、平時から近隣住民と連携し、避難経路の確認や避難訓練を重ねておくことが重要であるため、地域支援者や自治会、自主防災組織に協力をお願いし、防災訓練への参加などを促す。

③被災地支援

(5)がん対策について

①がん検診

②在宅ターミナルケア支援事業
(6)救急ワークステーションの導入について

(7)マイナンバーカード等の窓口

対応について

問 市役所1階の窓口が、毎日のように各種手続きのために大変に混雑し、常に待ち時間が発生している。そこで、コロナ禍で混雑を避けたい市民の気持ちに応えるため、窓口の混雑状況がスマホやパソコンで確認できる「混雑ランプ」サービスを導入すべきでは。

答 ここ数カ月のマイナンバーカード申請数は、前年同期期の10倍以上で、窓口の常態的な混

雑が続いていることから、混雑解消の一つの方策として、各窓口の手続き別の待ち人数や呼び出し番号をスマートフォンなどのウェブ上で確認できるナビシステムを導入する予定としており、待合スペースでの滞在時間の短縮を図り、密の発生を防止したい。

新居浜の未来を考える会
(代表質問)
神野恭多議員(40分)



(1) 新型コロナウイルス感染症について

① 本市の取組状況

② 医療体制の維持、確保

問 冬にかけてインフルエンザが流行することにより、コロナがインフルかわからない患者が地域の診療所に相次ぐ恐れがあり、これによる地域医療の衰退を危惧する。ドライブスルー検査などでコロナかインフルかのスクリーニング機能が必要と考えるが、いかがか。

答 季節性インフルエンザの流行期に備え、新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの検査体制や医療提供体制の確保が何よりも重要であると考えており、重症化の恐れがあ

る高齢者への季節性インフルエンザ予防接種補助の拡充や新居浜・西条圏域におけるドライブスルー方式の検体採取の実施など、感染症拡大防止方策について、愛媛県および医師会と協議を検討している。

③ さらなる経済支援の促進

④ 子どもたちの笑顔の拡充

⑤ 市民一斉清掃の中止の影響

(2) ローカル5Gについて

① 新居浜をローカル5Gの聖地に

問 先進性を武器とし、さまざまな展開や可能性を秘めたローカル5Gを強力に推し進める必要性を感じるが本市の考えはどうか。また都市部はもとより中山間地域などにおいて多岐にわたる演繹的活用が期待される5Gの基幹インフラとなる光ファイバーの回線整備状況は。

答 全国の実証実験の結果を検証した上で最新の情報を収集し、新居浜地域スマートシティ推進協議会においても検討を進め、利便性の向上、防災・減災対策に効果がある事業を実施できるよう取り組んでいく。また、光ファイバーの整備状況は、別子山・大島地区を除くと99・6%

であり、別子山地区では、本市が光ファイバーケーブルを地区まで敷設している。大島地区では、陸上部からの4Gの通信及び高速無線を利用したサービス提供が行われており、今後も、通信事業者と協力し、5Gを活用した検討を進めていく。

影響により交通量および歩行者利用が増えているが、夜間通行するにも街路灯がない。地域の防犯上、安全上の対策面からぜひ防犯街路灯の設置をお願いしたい。

② 移住定住の促進

(3) SNSにおける誹謗中傷対策について

(4) eスポーツの促進について

(5) スクールノマドについて

(6) 消防・防災体制の充実について

9月9日(水)

自民クラブ

小野辰夫議員(30分)



(1) 特別定額給付金とマイナンバーカードについて

(2) 新型コロナウイルス禍における学校教育について

(3) 国際交流協会について

(4) 沢津・垣生海岸堤防上の街路灯について

問 南海トラフ巨大地震対策で約3キロメートルのかさ上げや海岸道路の整備が行われ、その

影響により交通量および歩行者利用が増えているが、夜間通行するにも街路灯がない。地域の防犯上、安全上の対策面からぜひ防犯街路灯の設置をお願いしたい。

答 堤防道路は愛媛県が管理のために車両などの通行が可能な状況としているもので、一般の通行を規制はしていないが道路に寄与したものではないため、管理上において街路灯を設置する必要がないことから管理者による設置は難しいと考えている。また、管理者以外が工作物を設置するには占用許可が必要となる。

答 堤防道路は愛媛県が管理のために車両などの通行が可能な状況としているもので、一般の通行を規制はしていないが道路に寄与したものではないため、管理上において街路灯を設置する必要がないことから管理者による設置は難しいと考えている。また、管理者以外が工作物を設置するには占用許可が必要となる。

(5) 敷島橋について

問 敷島橋は架橋後58年経過し、また架設年が古いため橋脚の数が21本もあり、台風などで流木などが引つ掛かると、水位が一気に上昇し大規模な河川氾濫が懸念される。最近予測不能な豪雨が頻発しているため、老朽化と防災上の両面から早く架け替えをお願いしたい。

答 昨年度実施した法定点検の結果、早期に措置すべき状態であり、今年度は通行者への当面の安全対策として橋桁などのコ

ンクリート落下防止のための部分的修繕を予定しているが、長寿命化を図るには、本格的な修繕、改修工事が必要と考えている。今後架け替えを含めた老朽化・防災対策の検討を進めるとともに、適切な橋の管理に努める。

(6) 支部社会福祉協議会の財源について

無党派
井谷 幸恵議員 (10分)



(1) 学校給食施設整備基本計画について

- ① 学校給食検討委員会の要望
 - ② 食育の位置づけ
 - ③ センターでの食育と自校方式の重要性
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 本市の状況
- ② エッセンシャルワーカー等のリスク
- ③ PCR検査拡充の必要性

無党派
片平 恵美議員 (10分)



(1) 王子幼稚園の閉園に関する対応について

- ① 地域、保護者との意見交換会
- ② 閉園決定の通知の時期
- (2) 学校給食におけるアレルギー対応について
- ① 基本姿勢
- ② 対応人数と将来的な見込み
- ③ 共同調理場での対応
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策としての保険料の減免について

新居浜の未来を考える会
米谷 和之議員 (20分)



(1) 防災体制について

- ① 豪雨災害対策
- ② 避難所及び福祉避難所
- ③ 地域防災計画の改定

無党派
小野 志保議員 (10分)



(1) 学校給食施設整備基本計画について

- ① パブリックコメントの結果
- ② 7100食のリスクマネジメント
- ③ 調理従事者の環境整備と建設に係る協議

9月10日 (木)

④ 地産地消

公明党議員団
藤原 雅彦議員 (30分)



- (1) 地域コミュニティについて
- (2) 財政運営とICT活用について
- (3) 母子世帯における養育費について

問 母子世帯の養育費の受け取りが少ない現状を踏まえて、保証会社などを活用して、「不払い養育費の立て替え」に取り組みむべきと思うが、所見を伺う。

答 不払いの養育費の助成事業については、ひとり親家庭の貧困防止になる事業であるため、実施可能性について調査研究する。今年7月から厚生労働省により、児童扶養手当および養育費に関する意識調査が行われており、児童扶養手当受給者の経済的な状況や養育費受給についての全国的な傾向などが判明するため、その結果を踏まえ、ひとり親施策に反映していきたい。

(4) ぐみ出し支援について

問 「四国一子育てしやすいまち」を目指すためにも、ふれあい収集事業に、妊娠期や3歳未満の乳幼児がいて、早朝勤務や

単身赴任などで家族の協力が得られない世帯を含むことはできないか、所見を伺う。

答 早朝勤務や単身赴任などで家族の協力が得られない子育て世帯のふれあい収集実施については、少子化が急速に進展する中、ライフスタイルの変化による多様な子育てニーズに応え、健やかに子どもが育つ環境づくりのためには有効な方策の一つと考えており、今後、国からの通知や他市の動向などを注視し、情報収集に努める。

- (5) 使用済み紙おむつについて
- (6) 新型コロナウイルス禍における避難所運営について

自民クラブ
伊藤 優子議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

- ① 健全化判断比率
- ② 対策店舗の利用喚起

問 新居浜市は、財政力指数や経常収支比率のほか、財政健全化に係る指標、実質公債費比率や将来負担比率は良い数字だったが、コロナ禍での来年度の見通しはどのようになるのか。ま



新居浜市議会



←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問 策定中の第六次長期総合計画の具体的な施策の大綱と重点

(6)子育て支援について

- (5) 新型コロナウイルス禍における学校の対応について
- (4) 成年後見制度利用促進のための施策について
- (3) レジ袋削減に関する取組について
- (2) ごみ問題と自治会加入促進について
- (3) 市長のメッセージ

た、市長として、三密対策をしている店舗への利用の喚起について、どうするのか。

答 実質公債費比率と将来負担比率は本年度と同水準で推移すると考えているが、経常収支比率は、市税収入の落ち込みによる数値の悪化を危惧しており、さらなる歳出の抑制と限られた財源の有効活用に努める。店舗の利用喚起については、感染症対策を宣言した店舗においてあかがねポイントを付与するキャンペーンの実施や、ステッカーの掲示により一定の周知ができたと考えている。今後も利用喚起策を検討し、社会活動を活性化できるような事業者支援に取り組みたい。

- (1) アフターコロナの時代について
 - ① 新居浜駅開業100周年記念事業
 - ② 住みやすい都市
- (2) 新居浜駅周辺整備構想について
 - ① 駅南地区
 - ② 都市拠点施設の整備
 - ③ 南北一体化

新居浜の未来を考える会
合田晋一郎議員(10分)



プロジェクトへ、若いママさんたちの意見はどのように取り入れるのか。また、特定不妊治療へのさらなる増額補助をお願いしたい。

答 長期総合計画策定時のワーキンググループにおいて、地域子育て支援拠点や保育施設の代表者参加のもと、貴重な意見や提案をいただき、計画案に反映している。不妊治療については、県内でも助成額は高額であり、また今年度に増額したばかりであるため、現在の補助を継続しながらその効果を検証するとともに、財政状況などを勘案し検討していく。

12月市議会定例会

時間 午前10時開会

本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内容
11月30日(月)	議案上程、説明、質疑、委員会付託 決算特別委員長報告、討論、採決
12月8日(火)	一般質問 藤田 豊治 議員(30分) ・予算質疑 黒田 真徳 議員(30分) 篠原 茂 議員(30分)
12月9日(水)	一般質問 大條 雅久 議員(30分) ・予算質疑 河内 優子 議員(30分) 伊藤 嘉秀 議員(30分) 小野 志保 議員(10分)
12月10日(木)	一般質問 片平 恵美 議員(10分) ・予算質疑 白川 誉 議員(30分) 合田晋一郎 議員(30分) 井谷 幸恵 議員(10分)
12月11日(金)	企画教育委員会開催 経済建設委員会開催
12月14日(月)	市民福祉委員会開催
12月17日(木)	委員長報告、討論、採決

決算特別委員会 開催報告

9月市議会定例会にて付託された令和元年度決算認定議案の審査のため、10月20日(火)から23日(金)までの間、決算特別委員会を開催しました。20日(火)は市内10カ所の現地調査、21日(水)から23日(金)までは決算の認定審査に係る質疑および採決を行いました。

議事課

☎ 65-1321
FAX 65-1322



決算特別委員会現地調査
(端出場水力発電所整備事業)